33. Icius magister Karsch

クロハネグモ

34. Menemerus confusus Boesenberg et Strand

35. Myrmarachne japonicola Boesenberg et Strand

クロアリグモ

Fam. CLUBIONIDAE (フクログモ科)

36. Clubiona japonicola Boesenberg et Strand

ハマキフクログモ

註 *印は大山にて得たるもの

コケオニグモ九州に産す

予は王寺幸寛氏御採集の九州宮崎地方虄蜘蛛類隠本を拜見中, 岡らずも同地方にコケ オニグモ Araneus mongolicus Simon を産する事を知つた。該標本は1936年10月25日宮崎 市で御採集になつたもので、まだ極めて若い一頭の♀であつたが、 本種獨特の色彩及斑 紋等からして予は容易に此の蜘蛛を上記コケオニグモに同定する事が出來た。

添に採集せられる珍品である。 以上の様な分布を持つ此の蜘蛛が九州宮崎市で發見され た事は特筆に値すると思ふ。此所に短報を記す所以である。 (植 村 利 夫)

ヨシイヘハヘトリの分布

日本産ハヘトリグモ類の最も見事な種にヨシイへハヘトリ Yoshiiyea agoana Kishida 1913がある。 本種は其の學名及和名が源義家に因むが如く關東から奥羽地方へかけて個 體數の非常に多い種であるが、中部以西からは殆ど知られて居なかつた。 而るに一昨年 坂口總一郎氏が紀州高野山に於て採集せられたのを初めとして 山根靜雄氏は滋賀縣及廣 島市附近に於て、王寺幸寬氏が宮崎市に於て之を採集し、西は遠く九州まで分布する事 が分つた。 更に東は北海道小樽市に於て竹原榮氏が本種を採集なされた事は己に本誌に 報告しておいた。 斯くて義家の勢力範圍も關東・奥羽地方に限らず廣く日本内地全體に **攟がつたわけである。 但しこれ等の新産地に於ては東京市附近程も多産しない事は確か** (植 村 利 夫) だと思ふっ